

2012年3月28日

内閣総理大臣 野田 佳彦 様  
内閣官房長官 藤村 修 様  
環境・原発担当大臣 細野 豪志 様  
経済産業大臣 枝野 幸男 様

新日本婦人の会  
会長 笠井貴美代

## 関電大飯原発の再稼働など絶対認められません

政府は、関西電力大飯原発3、4号機の再稼働に向けて今週にも政治判断をすると伝えられています。私たちは、福島原発事故による、とりかえしのつかない深刻な放射能被害を身をもって実感している今、国民の命や安全をなんらかえりみない原発再稼働はぜったい認めるわけにはいきません。

なによりも、福島原発事故は、今に至っても汚染水の海への流出などが相次ぎ、事故原因も解明されず、原子炉内部や配管の状況を確認することすらできていません。こんなときに、原発の再稼働などとんでもありません。

政府は、同原発のストレステスト（耐性試験）第1次評価が内閣府原子力安全委員会です承されたことを再稼働の根拠にしようとしています。これもなんら原発の安全性の保証にはなりません。原子力安全委員会の班目春樹委員長が「1次評価は安全評価としては不十分」と発言し、枝野幸男経済産業大臣も「ストレステストをやったから、それで安全性が確認されるというものではない」と国会で答弁しています。

本日3月28日には、経済産業省原子力安全・保安院が、大飯原発周辺の3つの活断層の連動を考慮すべきとの見解をまとめました。

福井県知事はじめ滋賀県議会での全会一致決議など地元自治体からは、福島原発事故の真相究明もせず、安全性も確保されないなかでの再稼働は認めないとの声がまきおこっています。

数々の反対の声を無視して、国が推し進めて起こした人災、原発事故の痛恨の教訓のうえに、いまこそ国民のいのちと安全をなにより守る立場にたち、原発からの撤退こそ決断すべきです。野田首相はじめ、関係閣僚に、以下、強く要請します。

1、どこからみても再稼働の「政治判断」など絶対ゆるされません。再稼働はやめてください。